

■CIS各地報告

<マレーシア>

日程	2014年8月17日(日)～30日(土)14日間
場所	・千代田マレーシア ・マラヤ大学
参加者	・大阪大学:工学研究科2名、外国部学部2名 ・マラヤ大学:機械工学専攻2名 言語学部2名
引率者	大阪大学5名

<概要>

企業実習は、3カ所の関連した企業で行われました。基本的な講義の他、実務のロールプレイングなども盛り込まれていました。実習課題には「異文化コミュニケーションにおける課題と対策」という大きなテーマが与えられ、研修を通して自分たちで具体的な課題を設定するというものでした。報告書はリハーサルの段階ですでに完成度が高く、短い時間でよく準備できたと教授からの言葉に学生たちは勇気づけられていました。

最終報告会は、Aグループ「良いチームワークを形成する方法」、Bグループ「職場での、特にリーダーに必要なソフトスキルは何か」。自分たち探求する課題を見つける過程で、企業の方から Flexibility や Creativity に関する話を伺ったことで気づきがあり、チームが一丸となって取り組むことができたようです。

企業から「ロールプレイング」という独創的なプログラムが用意されていたので、文系と理系の学生が協働しながら作業ができ、異文化・異分野融合の目的が大きく達成できました。また、プレゼンテーションをまとめる過程で文系理系に関係なく、プロジェクトを推進するためには、全体像を把握する力が求められるという事を学ぶことができました。さらに、文化体験としてマラッカへバスで赴き歴史的建造物を訪れたほか、現地の人たちとの音楽的交流ができたことも良い体験になりました。

このように現地企業の周到な準備や協力により非常に充実したプログラムになりましたが、企業の負担が大きかったのではないかと思います。今後は、その負担を軽減する工夫が必要と思われます。また、トップマネジメントのお話の中で「Have Fun!」というメッセージが印象的でした。